

冊 サンプルレンズだより

本年もよろしくおねがいします。

今年は猪年、安心して住みやすい社会になるよう真っすぐに進んでいくことを願って初詣に行ってきました。法人も小規模多機能施設「おあしす」の開設に向けてスタートします。私たちを取り巻く状況は厳しいものもありますが、オアシスのように地域の人たちにとって一息つき落ち着ける地域の中の施設をめざして進んでいきたいと思えます。地域及び関係者のみなさまの一層のご理解、ご支援を賜りたいと存じます。

理事長 安藤雄太

4月
OPEN

小規模多機能準備室 室長 中島より

昨年9月、上井草ふれあいの家を閉鎖しました。当時、「どうしてなくなってしまうの」、「寂しくなる」、「この職員さんはみんな優しいから新しくなったらまた戻ってくる」等のたくさんの声をいただきました。閉鎖が決まった後も、最終日まで楽しく精一杯ご利用いただいている光景をみて、それだけご利用者様にとって大事な場所だったんだと痛感しました。そして、最後までその場所を守っていただいたボランティアの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。挨拶の大切さ、気持ちの良い環境とは、求められていることとは、意欲を引き出すためには等、いろんな場面でたくさんのことを、同じ目線で一緒に考え実践し経験させてもらいました。「ここにくるとみんな楽しい気分になる。ご利用者様だけではなく地域の方や職員もみんなが笑顔になる」そんな事業所にしたいです。

現在は、今年4月のおあしす上井草小規模多機能ホームの開設準備をしています。昨年10月より開設準備室のメンバーと、備品選定、申請書類等の作成、地域へのご挨拶回りなど、初めて携わることに、試行錯誤しながら充実した毎日を過ごしています。

おあしす上井草小規模多機能ホームを知ってもらうために、地域住民宅へ1件ずつご挨拶に伺ったり、病院や居宅介護事業所等へのご挨拶、事業所の内容についてのお知らせ等も積極的に行っています。また、お仕事説明会のポスティングも行いました。「こんなに回れるかな？できるかな？」という気持ちから始まりましたが、今では「知ってもらうためにしっかり回る！」という気持ちで地域に出向いています。

「落ち着く・安心・信頼・スマイルのある事業所でありたい」という気持ちがこもったおあしす上井草小規模多機能ホームは、21年間営業してきた上井草ふれあいを家の生まれ変わりとして、更に地域の方々と共に歩いていく事業所になれるよう職員一同、準備を進めています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

2019年4月1日OPENします



おあしす上井草 小規模多機能ホーム



小規模多機能型居宅介護は、利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行います。

【ご利用のイメージ】



対象となる方

【要支援1～2】

【要介護1～5】

※要介護認定申請の手続きも代行できます

※認知症のある方でもご利用できます。

杉並区在住の方に限ります

ご利用時間

【年中無休24時間】

※日曜・祝祭日もご利用いただけます

車椅子でも送迎できます

随時見学・体験利用できます

サービスの特徴

- ①一か所で訪問・通い・泊まりの利用が可能（窓口が一つで手続きが楽）
- ②24時間対応
- ③少人数で細やかな対応
- ④スタッフが同じなので、状況の変化に気づきやすく安心
- ⑤困った時に随時訪問

費用について

【通い】【訪問】【泊まり】

3つのサービスが月額定額制でご利用いただけます。

※その他各種加算や食費・日常生活費・宿泊費などの利用者負担となるものがございます。詳細については、お電話でお気軽にお問い合わせください。

ご利用定員

登録 29名 通い 18名 泊まり 6名

一般社団法人困ったときの SOS

本年もよろしくお願いいたします。

社会福祉法人サンフレンズの傘下から出発して早8年、小さい活動のままですが、地域の方々との輪が広がってきていると実感しています。昨年11月、上井草駅前の大きな空き地で、サロン参加者の手作り品即売会“秋空市”を開催しました。まず空き地借用の件では、鈴木組の鈴木定雄様が土地所有者の志村様に向けあってくださり気持ちよくお借りすることができました。バザー開催準備にはサンフレンズの全面的協力を得ました。上井草自治会・



商店会よりテントや机・いすを借用、実際の運びやテント張りは自分達の力及ばずでしたが気持ちよくご協力を得、本当にありがたいことでした。当日はまちの人達や友人・知人が誘い合って来店、たくさんの買物を楽しんでくれました。バザーをやりたい意気込みだけでは為すことのできない自分たちの限界を知り、惜しみなく協力してくださった地域の方々のおかげに支えられて開催できたことに改めて心から御礼申し上げます。



上井草園の入居者も地域の一員であるという思いから、何か私たちに支障できないかと考え、編物サロンを2階の一隅で開始しました。参加者は2人が3人になり5人にもなりました。手慣れるまで「30目30段のモチーフ」をたくさん編んでもらい、その結集が1枚の大きな膝かけになりました。手に麻痺や拘縮があっても一針一針編み続け、「楽しいわよ、昔はね、・・・」などとの会話もあり、今はマフラーやベスト作りに励んで

おられます。表情が笑顔になって一生懸命に編み進めている姿、毎週火曜日を待ち続けてくれる姿があります。また、木曜日の午後は30～40分間ですが、お楽しみ会と称して、川崎ボランティアさんのオカリナ演奏と豊かな声で語る紙芝居や当サロンの大正琴同好会の演奏と歌の会等を楽しんでいただいています。一緒に歌ったり、「ありがとう」という言葉が一番うれしがっているのは私たちかもしれません。



5名の社員と無償のボランティアさんに助けられての活動です。一般社団法人としてではありますが、経営的には精一杯です。そこで、活動をご支援下さる賛助会員を求めています。年会費1口3000円です。振込用紙は上井草園受付にパンフレットと共においてあります。御心あればよろしくお願いいたします。

新しいボランティアメンバーがなかなか増えないという現実もあるのですが、今年も謙虚な気持ちで活動を続けていきたいと思っています。



一般社団法人 困ったときのSOS
小暮久美子 記

【活動内容】:

- ◆困ったときのSOS支援
- ◆SOSふれあいサロン

【活動日】:月曜日～金曜日 9時～17時

【活動区域】:事業所近隣

住所: ☎167-0023

東京都杉並区上井草 2-35-12

藤原ビル 2F

☎: 03-5303-4246





サンフレンズ善福寺は2007年に開設し、今年で12年目を迎えます。閑静な住宅街に、全室個室で、すべての個室にトイレが設置されている、住環境の恵まれた施設です。環境は申し分ないのですが、設備は10年経過したこともあり、少しずつ劣化しているものがありました。そこで、赤い羽根共同募金のご協力を得て、機械浴槽を入れ替えることにしました。



もともと、当施設の機械浴槽は、ヒノキでできており、入浴時の香りは良いのですが、メンテナンスが大変でした。10年の歳月を経て、浴槽の底面にひび割れができてしまったため、新しい機械浴槽を導入することとしました。導入にあたり、ご利用者や職員の声を反映し、最新の機械浴槽を導入することとなりました。洗体台で横になっているご利用者の不安を最小限にするため、入浴時に洗体台が昇降しなくて良いものを選びました。ご利用者からは「安心して入浴できる」と喜びの声をいただいております。皆様の温かいご協力に感謝申し上げます。

介護職員初任者研修 8名の職員が修了しました（平成29年～30年通算）

昨年度より、開始した介護職員初任者研修で8名の職員が初任者研修の資格を取得しました。講師陣はサンフレンズの職員たちが担当していますので、普段は顔を合わせる機会が少ない他事業所間の職員交流の場ともなっています。来年度以降も新人職員、資格を持っていない職員を対象に研修を継続してまいります。地域にお住いの住民の皆様からも受講希望の声を頂いておりますので対象を広げての講座開催も併せて検討してまいります。

募金への協力についての報告

【赤い羽根共同募金】 募金額 915円

上記を杉並区社会福祉協議会（東京都共同募金会杉並地区協力会）にお渡ししました。

皆様の温かいご協力に感謝申し上げます。



法人への寄付金および物品等を賜り 厚く御礼申し上げます

2018年7月1日から2018年12月31日までにご寄付をいただいた順に掲載しています。

【寄付金】 上松可ね子様、島津英男様、河周子様、加藤晴康様、加藤恭子様、吉田啓造様、吉田孝仁様、森山千賀子様、立教女学院 GFS 様、匿名希望 15 名様

【寄付物品】 高山恵子様、株式会社ここから様、梅田恵様、砂田郁子様、匿名希望 4 名様

No.85 2019.2.1

発行：社会福祉法人サンフレンズ

編集：法人事務局長 菱木幸治

〒167-0023 杉並区上井草 3-33-10

TEL03-3394-9833

MAIL : kamiigusa@3friends.or.jp

WEB : サンフレンズ